

(様式第 12 号) (要綱第 12 第 1 項関係)

## 平成 29 年度 自然エネルギー地域発電推進事業総括書

事業内容	住宅の屋根と敷地を有効利用し、市民出資「相乗りくん」・地元金融機関の融資などを活用した地域連携型太陽光発電事業。
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人上田市民エネルギー 0 2 6 8 - 5 5 - 9 6 6 8
エネルギー種別	太陽光発電
内容区分	発電設備設置
総事業費	9,684,640 円 (うち補助金額 : 2,421,000 円)

### 事業内容

住宅の屋根と敷地内の土地を利用し、市民出資「相乗りくん」スキーム、収益納付型補助金、地元金融機関の融資を活用して、地域連携型の市民発電所を設置した。

パネル容量 : 33kW (設備認定容量)



【東御市 : 相乗りくん雷電発電所】

### 事業効果

- ・太陽光発電に条件のよい住宅の屋根や土地の活用
- ・「相乗りくん」による市民の太陽光発電への参加機会提供
- ・地元金融機関による地域資金還流
- ・災害時の電源確保
- ・市民出資のみの資金調達に加えて、収益納付型補助金、融資などうけることで設置までのスピードを早められた。

### 今後の取組み

東信地域には住宅の屋根や周囲の土地への太陽光発電の導入を検討している人がまだまだ多い。市民出資型太陽光発電所「相乗りくん」のスキームを活用しながら、今後は地元金融機関の融資の活用も検討し、より多くの設置を目指す。

自己評価 (事業実施率) 【A】

【目標・ねらい】

- 屋根や土地の有効利用
- 市民参加の機会提供
- 地域金融の活用
- 災害時の電源提供

自己評価 (目標達成率) 【A】

(様式第 12 号) (要綱第 12 第 1 項関係)

## 平成 29 年度 自然エネルギー地域発電推進事業総括書

事業内容	環境教育を目的とした公共施設の屋根貸し事業で、市民参加「相乗りくん」・地元金融機関の融資などを活用した地域連携型太陽光発電事業。
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人上田市民エネルギー 0268-55-9668
エネルギー種別	太陽光発電
内容区分	発電設備設置
総事業費	15,531,500 円 (うち補助金額: 3,882,000 円)

### 事業内容

環境教育の提供と非常時の電源確保を目的とした上田市所有施設屋根等貸付事業で、上田市立第四中学校の屋内運動場の屋根に太陽光パネルを設置。市民出資「相乗りくん」スキーム・収益納付型補助金・地元金融機関の融資を活用して、地域連携型の市民発電所を設置した。

設置容量: 49.5 kW



【上田市諏訪形: 相乗りくん四中おひさま発電所】

### 事業効果

- ・ 公共施設の屋根の活用
- ・ 太陽光発電を中学生への環境教育に活用
- ・ 「相乗りくん」による市民の太陽光発電への参加機会提供
- ・ 地元金融機関による地域資金還流
- ・ 地域への非常用電源の提供
- ・ 市民出資のみの資金調達だけでなく、収益納付型補助金、融資などうけることで設置までのスピードを早められた。

### 今後の取組み

長野県も上田市も今後も公共施設の屋根の活用を継続して検討すると聞いている。地域や市民の力を活用しつつ、同時に還元しながら自然エネルギーを増やし環境教育にも活かす。

自己評価 (事業実施率) 【A】

【目標・ねらい】

- 公共施設屋根の有効利用
- 環境教育への活用
- 地域金融の活用
- 災害時の電源確保

自己評価 (目標達成率) 【A】

(様式第 12 号) (要綱第 12 第 1 項関係)

平成 29 年度 自然エネルギー地域発電推進事業総括書

事業内容	地域連携と市民出資「相乗りくん」を活用したソーラーシェアリング
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人上田市民エネルギー 0268-55-9668
エネルギー種別	太陽光発電
内容区分	発電設備設置
総事業費	16,255,049 円 (うち補助金額: 4,063,000 円)

### 事業内容

市民出資「相乗りくん」スキーム・収益納付型補助金・地元金融機関の融資を活用した地域連携型のソーラーシェアリングを設置した。

パネル容量: 49.5kW (設備認定容量)



【上田市手塚:相乗りくんとっこ SUN 発電所】

### 事業効果

- ・農地の上に太陽光発電を設置することで収入の安定による農業運営支援とエネルギー自給率アップに貢献するソーラーシェアリングの市民出資や融資を活用するモデルケースを作ることができた。
- ・地域への非常用電源の提供
- ・「相乗りくん」による市民の太陽光発電への参加機会提供
- ・地元金融機関による地域資金還流
- ・市民出資のみの資金調達に加えて、収益納付型補助金・融資をうけることで設置までのスピードを早められた。

自己評価 (事業実施率) 【A】

【目標・ねらい】

- 農地上の空間の有効利用
- 市民出資・地元金融機関の融資によるソーラーシェアリングのモデルを作る
- 地域のエネルギー自給率向上のための新しい手法開発
- 災害時の電源提供

### 今後の取組み

今後地域の農業者がソーラーシェアリングを検討する際に市民出資「相乗りくん」の活用や融資等も選択肢の一つとして提案していく。

自己評価 (目標達成率) 【A】

事業内容	公共施設屋根に太陽光発電設備導入
事業主体 (連絡先)	「iNE 開発株式会社」 上伊那郡飯島町飯島 1117 番地 Tel080-5450-8876
エネルギー 種別	太陽光発電
内容区分	設備機器導入・実証事業
総事業費	67,850,000 円 (うち補助金額: 15,000,000 円)

### 事業内容

平成 28 年度飯島町公の施設に係る太陽光発電に事業者選定された iNE 開発株式会社が、町内にある公共施設 9 施設に太陽光発電設備設置を実施する。

固定価格買取制度を活用した売電事業。また、緊急等の際には、町民が無償で非常用電源として活用できるよう、非常用コンセントの設置も同時に行った。

全体発電規模 324kW (設備認定容量)



設置した太陽光設備

### 事業効果

- ・公共施設の未利用空間を活用し、地域金融機関からの融資を受け、地域資金還流。
- ・町内の再生可能エネルギーの普及・災害時等に避難所等に指定されている施設への非常用コンセントが設置でき、防災拠点としての機能強化が図れた。
- ・年間発電量実績を町へ共有し、町内の再生可能エネルギー普及へ繋げる。

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

目的・ねらい

- 公共施設の有効活用 (屋根貸)
- 町民発電事業の普及
- 収益の地域還元
- 非常用コンセントの設置

### 今後の取り組み

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

本事業で得られた設備を、災害訓練等を通じて地域の再生可能エネルギー事業の理解に活用する。また、発電実績豊富な太陽光事業により、当社の事業基盤が確立され、小水力発電の 2 号機の設置に向けて検討を進める。

事業内容	小布施町における地域主導型小水力発電事業実施に向けた施設整備
事業主体 (連絡先)	長野自然電力合同会社 事業開発部 (090-4019-0086)
エネルギー 種別	小水力
内容区分	施設整備
総事業費	240,000,000 円 (うち補助金額: 72,000,000 円)

### 事業内容

小布施松川余水路を利用した小水力発電設備の土木・建築工事を中心とした施設整備を行なった。



【発電所建屋完成写真】

### 事業効果

今年度、土木・建築を中心とした施設整備行なうと共に水車・発電機も調達して小水力発電所が完成し、発電（売電）開始準備が整った。

自己評価（事業実施率）【A】

### 【目標・ねらい】

- 地域主導・地域貢献型小水力発電設備の建設と運転
- 地元関係者の意識向上・合意形成
- 小布施町エネルギー政策の実現

自己評価（目標達成率）【A】

### 今後の取組み

小布施町、雁田地区等の関係者、並びに地元の設計会社、建設会社との協力の下、小水力発電所を建設することが出来た。今後は安定的な運転を心掛けて売電収入を得ると共に、収益の一部を地元へ還元することを考えて行く予定。

事業内容	きのこの使用済み培地を活用した資源循環型発電事業
事業主体 (連絡先)	株式会社信州中野エコパワーランド 高木 中野市大字三ツ和 1206-1
エネルギー 種別	メタン発酵によるバイオガス発電
内容区分	発電設備の設置
総事業費	317,520,000円 (うち補助金額: 85,995,000円)

### 事業内容

きのこ栽培後に残る培地を主の原料としたメタン発酵で、ガスを発生させて発電を行う事業。きのこ栽培施設の近くに、日本政策金融公庫・地元 J A・地元金融機関の融資と収益納付型補助金を活用して、中規模な発電所を建設した。

発電容量: 370kwh



### 事業効果

- ・長年懸案となっていたきのこ使用済み培地の活用に新たな突破口を作ることができた。
- ・FIT (自然エネルギー固定化価格買取制度) を利用でき、長期に渡り安定した収益の見込める事業を実現できる。

自己評価 (事業実施率) 【A】

- 使用済みきのこ培地の減容
- 売電による確実な収益性の確立
- きのこ栽培へのリサイクルの取組
- 肥料としての活用の模索

自己評価 (目標達成率) 【A】

### 今後の取り組み

- ・きのこ使用済み培地を活用したバイオガス発電事業のパイオニアとして、この有用性と収益性をしっかりと確立し、今後の本事業拡大に向けた大きな一歩となり、地域のきのこ産業を含む農業の発展に貢献していきたい。
- ・蓄電池を導入し、災害時、非常時の電源として地元の役に立てるような施設となっていきたい。